



第3地域 行動計画推進リーダー：恒久基金・大口寄付アドバイザー 硯川 昭一（熊本江南 RC）

現在2つのお役目を頂戴しております。一昨年の今頃、佐藤元 RI 理事より、APC（アクションプランチャンピオン）という聞きなれないお話がありました。第1地域菅原さんと、第2地域桑澤さんとで、一体何をすればいいのだろうかと手探りの日々でした。

ここでこの2年を振り返ってみたいと思います。その後4半期に1回ステファニー・アーチック RI 会長エレクトとのリモート会議も行われ、少しずつ行動計画推進へ取り組む姿勢が分かってきました。年が明けまして、国際協議会あたりから、クラブ単位まで行動計画を浸透させるために、各地区に地区 APC を設置して欲しいと地域 APC とガバナーエレクトにご依頼が参りました。ガバナーエレクトにはガバナーへ向けた準備が大変な時でしたが、ご協力頂き、5月末には全地区に地区 APC が誕生し、オンラインで行動計画の進め方の話し合いを行い、各地区単位での、クラブへの指導をお願いし、引き続きロータリークラブ・セントラルへの目標入力をして頂くお願いをする運びとなりました。



ただ、混乱しましたのは、同時に3年間計画、3-Year Rolling Goals の登場でした。クラブに継続性をもたらすために、会長、会長エレクト、会長ノミニ、いらっしゃらなければ直前会長を交えて、将来のクラブの姿をイメージし、定量的な数値目標を3年先まで想定して頂き、それを毎年繰り返して頂くというものでした。しかしながら、肝心のその3年先の目標を入力するツールであるロータリークラブ・セントラルの改修がいつになるか分からず、そこで、第2地域桑澤さんが担当される Japan Portal Site 内において、3年間一堂に見て、入力できるエクセル仕様の入力表が暫定的に作られた訳です。12月に入ってやっとロータリークラブ・セントラルに4つの優先事項に沿って、26項目3年間入力できるように改修されましたが、残念ながら、3年間で単年度しか見れず、その結果、日本独自にクラブをサポートするグーグルフォームによる、今年度、来年度の目標及び達成状況を設定する方法がスタートすることになりました。

ある意味でロータリークラブ・セントラルに入力しながら、グーグルフォームにも記入するという煩雑さが生まれた訳ですが、今まで、ロータリークラブ・セントラルになかなか到達できなかったクラブ会長さん方にとっては大きな効果を生んでいます。第3地域の APC としての役職を務めまして改めて思いますことは、11の地区は事情も環境もそれぞれに異なるということです。その地区その地区のやり方、クラブそれぞれのやり方を尊重すべきと思いました。さらに、ガバナーによるクラブサポートミーティング、地域リーダーによるガバナーサポートミーティングも始まりました。他のクラブや地区の状況をお互い知ることに大きなヒントがあります。まずは挑戦いたしましょう！

次に、恒久基金/大口寄付アドバイザーとしましても、本年度から活動を始めました。私は32年間、人工透析をしながら、今まで仕事もロータリーも頑張って参りました。その間、多くの方々のご支援、ご理解を頂きました。ひたすら感謝の思いです。当初は、5年か10年程度しか生きられないから、仕事も安心して任せられないと言われることもありましたが、そのたびに、絶対長生きして見返してやると歯を食いしばって参りました。

人工透析には大きな医療費がかかりますが、有難いことに、透析患者は難病指定で特別の保険制度があり、軽い負担で治療を受けることができます。私はいつかどんな恩返しができるかをずっと考えてきましたが、正にこの役職は自分自身にとっても大きなチャンスと思っています。新しい日本の寄付文化を一步步作って参りたいと思います。